

県民モニター「第3回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「豊かな地域を考える」
- (2) 調査対象者：県民モニター1,396人（12月21日までの登録者）
- (3) 調査期間：平成19年12月14日(金)～12月26日(水)[13日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：605人（回答率43.3%）
- (6) 自由記入欄：11箇所設定（回答者の53.9%がいずれかに記載）

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		1,396	605	43.3%
性別	男性	845	414	49.0%
	女性	551	191	34.7%
年代別	10～20代	100	26	26.0%
	30代	273	76	27.8%
	40代	250	96	38.4%
	50代	249	117	47.0%
	60代	385	231	60.0%
	70～80代	139	59	42.4%

2 調査結果の概観

(1) 豊かさに対する意識

- ・地域社会の豊かさでは、回答者の6割が「それなり」(59.8%)又は「十分」(2.8%)に「豊か」としている。
- ・豊かな暮らしに重要なことでは、「経済的に安定した暮らし」(72.2%)、「福祉・医療が充実した安心な暮らし」(51.4%)に続いて、「人との交流」「自然環境」(ともに30.1%)が挙げられ、生活基盤だけでなく質的な豊かさに関する項目も上位にある。他方、量的な豊かさに関する「便利なものが満ちている暮らし」(7.3%)を選んだ回答者は最も少ない。
- ・また、回答者自身については、7割が「それなり」(67.6%)又は「十分」(4.0%)に「豊か」としている。

(2) 居住地域に対する意識

- ・現居住地に住んでいる理由を3つ選んでもらったところ、「買い物など日常生活に便利」(44.5%)、「自然環境に恵まれている」(41.5%)、「公共交通機関が便利」(40.0%)が4割台で上位を占めている。
- ・「現居住地に住み続けたい」(70.1%)と答えた方に、「子どもに住宅を引き継いでほしいか」と聞いたところ、「同居ではなく近所に住んでほしい」(31.1%)、「引き継ぐことは考えていない」(25.9%)と、住宅の継承に消極的な回答が6割近くになっている。
- ・一方、「他地域に移りたい」(16.2%)と答えた方に、「移り住むならどのようなところに住みたいか」と聞いたところ、「買物など日常生活で便利なところ」(22.0%)、「自然環境に恵まれているところ」(18.0%)、「公共交通機関が便利」(17.0%)が上位で、現在地の居住理由と同様の傾向が認められる。

(3) 地域社会の課題

- ・地域のつながりが希薄になることの問題点では、「地域全体の活気がなくなる」(35.4%)、「孤独死や虐待の増加」(26.0%)、「自治会が成立しない」(19.8%)が上位の項目となっている。
- ・また、多自然居住地域などの集落に人がいなくなることについては、「地域の生活様式などの文化がなくなる」(23.5%)、「田畑の管理ができず荒れる」(23.3%)、「山や森の管理ができず災害が起こりやすくなる」(20.3%)が上位で、地域文化の継承や県土空間の荒廃への懸念がうかがえる。

(4) 豊かさのために大切なこと

- ・暮らしを豊かにするために大切なことについては、「安定した収入を得ること」(32.1%)、「地域で助け合うこと」(23.0%)、「社会に役立つ仕事や活動をする」(18.5%)の順で挙げられており、経済的に安定したうえで、地域社会の共同利益を実現したいとの志向がうかがえる。
- ・「地域の豊かさ」に関する自由記入では、248人(回答者の41.0%)から延べ476項目の記入があった。記載内容をカテゴリーで分類すると、主なものは、「交流の促進等による地域社会の振興」(75件)、「安全・安心で、安定した暮らしの実現」(45件)、「互いを思いやる精神の涵養」(34件)、「施設や交通網等インフラの充実」(26件)、「行政の総合的な取り組みが必要」(22件)と、今後の地域の豊かさを考える上でのキーワードが見てとれる。

アンケート結果は、現在、21世紀兵庫長期ビジョンのフォローアップとして実施している「新たな時代潮流研究」における「持続可能な地域構造」や「生活の豊かさ」の検討に生かしていく。

3 調査結果

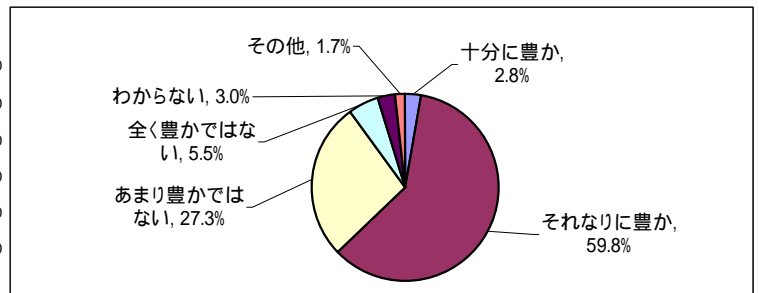
(1) 豊かさに対する意識

Q 1 地域社会は豊かだと思うか (1つ選択)

- (1) 十分に豊か 2.8%
- (2) それなりに豊か 59.8%
- (3) あまり豊かではない 27.3%
- (4) 全く豊かではない 5.5%
- (5) わからない 3.0%
- (6) その他 1.7%

「その他」の具体的な内容

- ・豊かに見えても課題は様々ある
- ・格差社会が拡大している



5件
3件 など

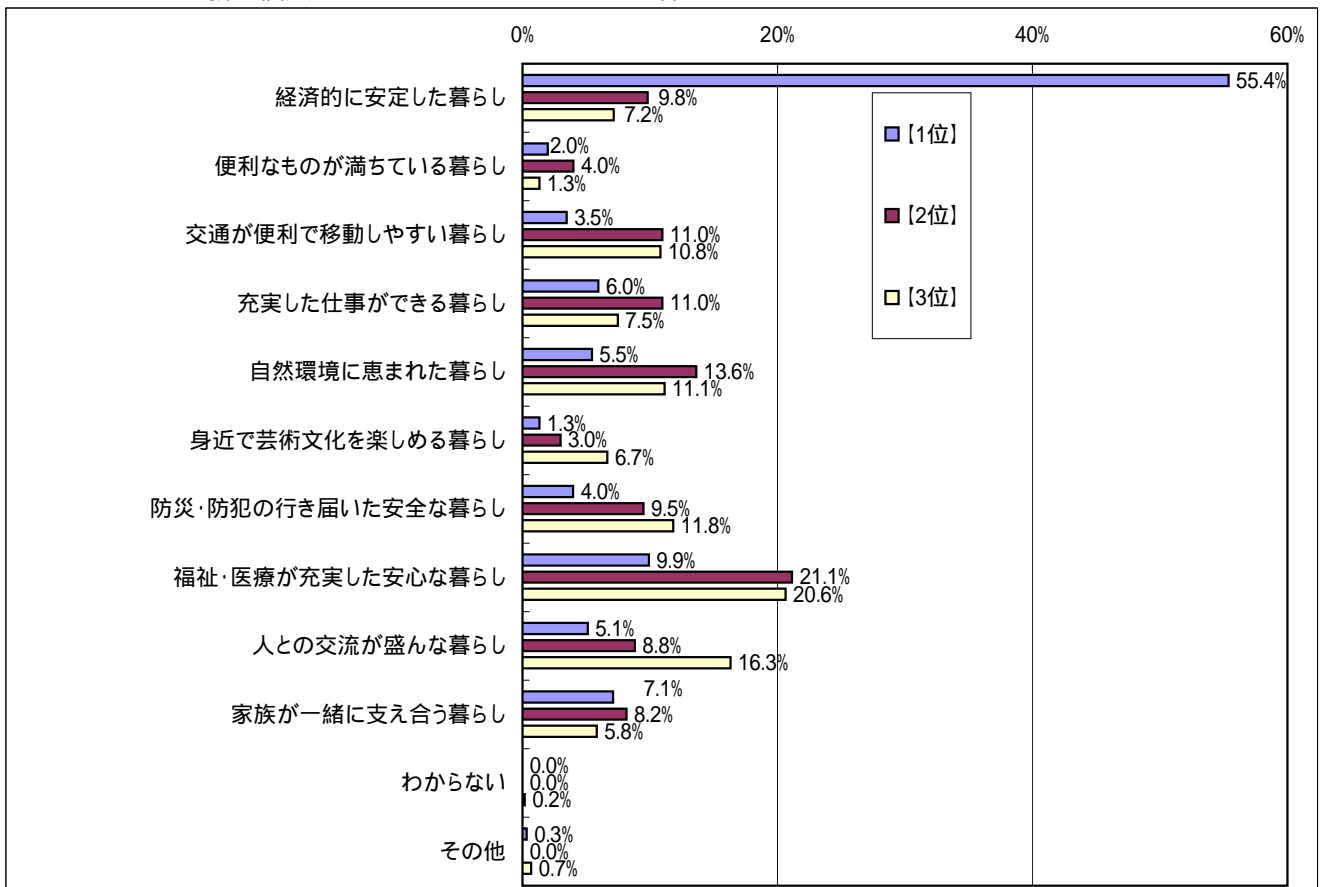
Q 2 豊かな暮らしで重要なこと

(上位3項目を選択)

	【1位】	【2位】	【3位】	1~3位のいずれかに選んだ人の割合
(1) 経済的に安定した暮らし	55.4%	9.8%	7.2%	72.2%
(2) 便利なものが満ちている暮らし	2.0%	4.0%	1.3%	7.3%
(3) 交通が便利で移動しやすい暮らし	3.5%	11.0%	10.8%	25.1%
(4) 充実した仕事ができる暮らし	6.0%	11.0%	7.5%	24.3%
(5) 自然環境に恵まれた暮らし	5.5%	13.6%	11.1%	30.1%
(6) 身近で芸術文化を楽しめる暮らし	1.3%	3.0%	6.7%	10.9%
(7) 防災・防犯の行き届いた安全な暮らし	4.0%	9.5%	11.8%	25.1%
(8) 福祉・医療が充実した安心な暮らし	9.9%	21.1%	20.6%	51.4%
(9) 人との交流が盛んな暮らし	5.1%	8.8%	16.3%	30.1%
(10) 家族と一緒に支え合う暮らし	7.1%	8.2%	5.8%	21.0%
(11) わからない	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
(12) その他	0.3%	0.0%	0.7%	1.0%

「その他」の具体的な内容

- ・教養を深める場所がある 2件
- ・豊かの定義に個人差がある 1件 など

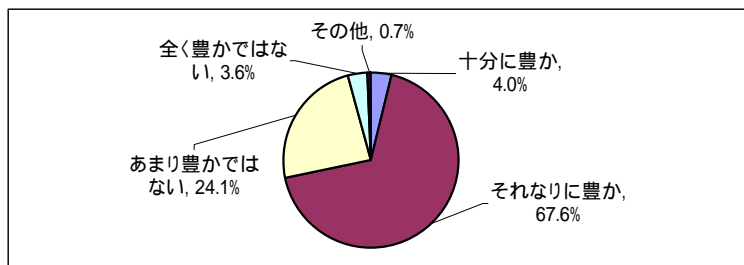


Q 3 豊かに暮らしているか (1つ選択)

- (1) 十分に豊か 4.0%
- (2) それなりに豊か 67.6%
- (3) あまり豊かではない 24.1%
- (4) 全く豊かではない 3.6%
- (5) その他 0.7%

「その他」の具体的な内容

- ・つつましくそれなりに暮らしている
- ・老後が不安である



5件
1件 など

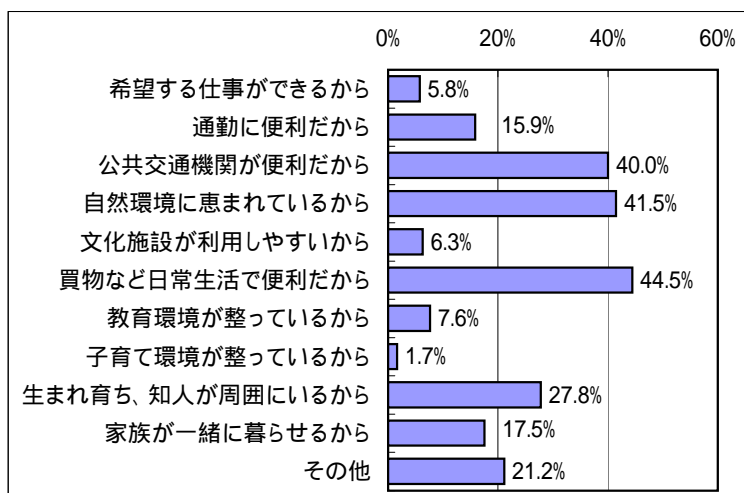
(2) 居住地域に対する意識

Q 4 今の居住地に住んでいる理由 (3つ選択)

- (1) 希望する仕事ができるから 5.8%
- (2) 通勤に便利だから 15.9%
- (3) 公共交通機関が便利だから 40.0%
- (4) 自然環境に恵まれているから 41.5%
- (5) 文化施設が利用しやすいから 6.3%
- (6) 買物など日常生活で便利だから 44.5%
- (7) 教育環境が整っているから 7.6%
- (8) 子育て環境が整っているから 1.7%
- (9) 生まれ育ち、知人が周囲にいるから 27.8%
- (10) 家族と一緒に暮らせるから 17.5%
- (11) その他 21.2%

「その他」の具体的な内容

- ・経済的な事情
- ・親から引き継いだ



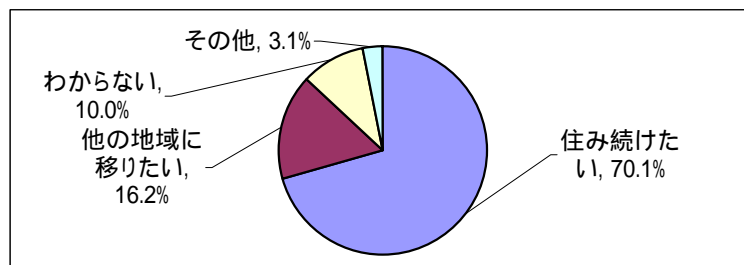
22件
18件 など

Q 5 今の居住地に住み続けたいか (1つ選択)

- (1) 住み続けたい 70.1%
- (2) 他の地域に移りたい 16.2%
- (3) わからない 10.0%
- (4) その他 3.1%

「その他」の具体的な内容

- ・老後(退職後)に考える
- ・他にいくところがない



5件
4件 など

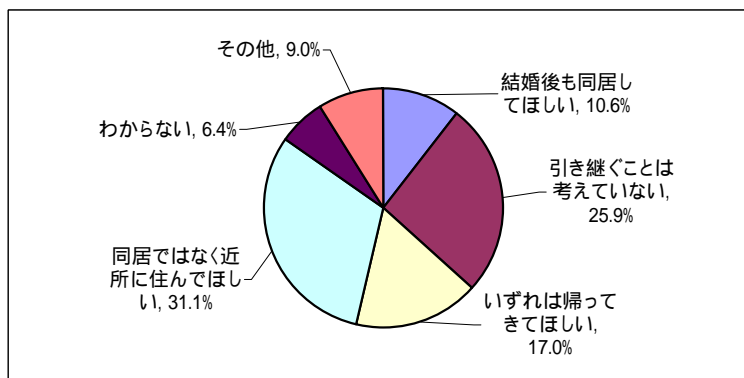
[Q5で「住み続けたい」選択者(424人)に対し]

Q5-2 自分の子どもに、今の住宅を引き継いでほしいか (1つ選択)

- (1) 結婚後も同居してほしい 10.6%
- (2) 引き継ぐことは考えていない 25.9%
- (3) いずれは帰ってきてほしい 17.0%
- (4) 同居ではなく近所に住んでほしい 31.1%
- (5) わからない 6.4%
- (6) その他 9.0%

「その他」の具体的な内容

- ・子どもがいない
- ・できれば住んでほしい
- ・賃貸等で引き継ぐことができない



20件
7件
6件 など

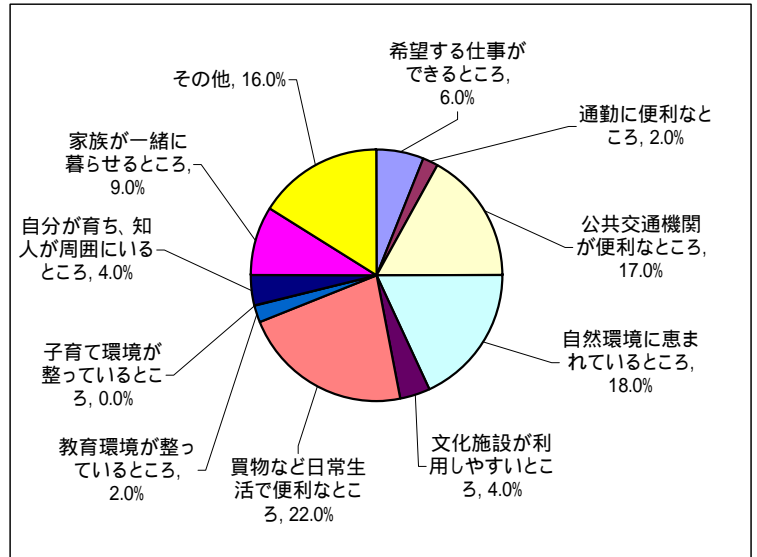
[Q5で「他地域に移りたい」選択者(100人)に対し]

Q5-3 移り住むならどのようなところに住みたいか (1つ選択)

- (1) 希望する仕事ができるところ 6.0%
- (2) 通勤に便利なところ 2.0%
- (3) 公共交通機関が便利なところ 17.0%
- (4) 自然環境に恵まれているところ 18.0%
- (5) 文化施設が利用しやすいところ 4.0%
- (6) 買物など日常生活で便利なところ 22.0%
- (7) 教育環境が整っているところ 2.0%
- (8) 子育て環境が整っているところ 0.0%
- (9) 自分が育ち、知人が周囲にいるところ 4.0%
- (10) 家族と一緒に暮らせるところ 9.0%
- (11) その他 16.0%

「その他」の具体的な内容

- ・自分が暮らすのに環境のいいところ



11件 など

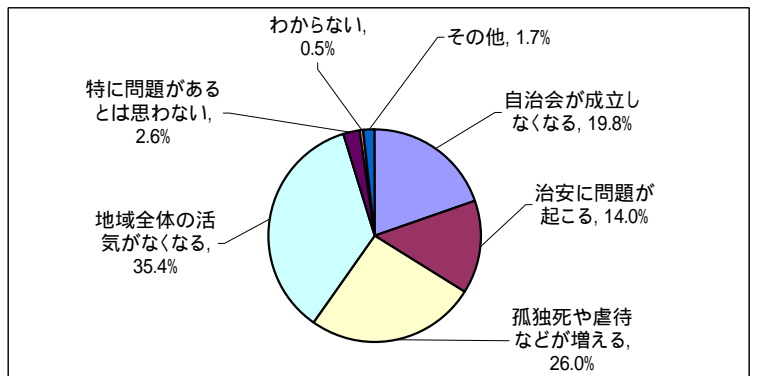
(3) 地域社会の課題

Q6 地域のつながりが希薄になることの問題点 (1つ選択)

- (1) 自治会が成立しなくなる 19.8%
- (2) 治安に問題が起こる 14.0%
- (3) 孤独死や虐待などが増える 26.0%
- (4) 地域全体の活気がなくなる 35.4%
- (5) 特に問題があるとは思わない 2.6%
- (6) わからない 0.5%
- (7) その他 1.7%

「その他」の具体的な内容

- ・自己中心的な社会風潮が強まる
- ・個人の生活には踏み込めない



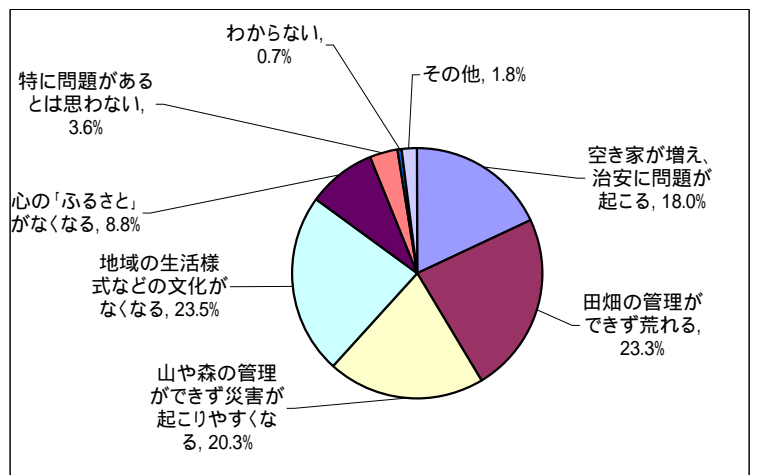
4件
3件 など

Q7 集落に人がいなくなることの弊害 (1つ選択)

- (1) 空き家が増え、治安に問題が起こる 18.0%
- (2) 田畑の管理ができず荒れる 23.3%
- (3) 山や森の管理ができず災害が起こりやすくなる 20.3%
- (4) 地域の生活様式などの文化がなくなる 23.5%
- (5) 心の「ふるさと」がなくなる 8.8%
- (6) 特に問題があるとは思わない 3.6%
- (7) わからない 0.7%
- (8) その他 1.8%

「その他」の具体的な内容

- ・残された緑の保全が必要
- ・周辺地域も寂れる



2件
1件 など

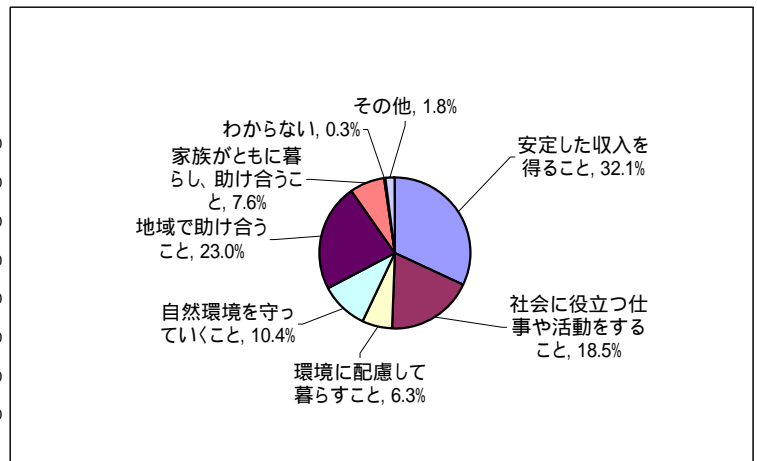
(4) 豊かさのために大切に思うこと

Q 8 暮らしを豊かにするために大切なこと (1つ選択)

(1) 安定した収入を得ること	32.1%
(2) 社会に役立つ仕事や活動をする	18.5%
(3) 環境に配慮して暮らすこと	6.3%
(4) 自然環境を守っていくこと	10.4%
(5) 地域で助け合うこと	23.0%
(6) 家族がともに暮らし、助け合うこと	7.6%
(7) わからない	0.3%
(8) その他	1.8%

「その他」の具体的な内容

- ・活発な地域活動 3件
- ・医療、福祉制度の充実 2件 など



Q 9 地域の豊かさについて思うこと (自由記入)

- 1 回答者の41.0%にあたる248人が記載した
- 2 記載内容 (延476項目) の主なものは以下のとおり

・交流の促進等による地域社会の振興	75件
・安全・安心で、安定した暮らしの実現	45件
・互いを思いやる精神の涵養	34件
・施設や交通網等インフラの充実	26件
・行政の総合的な取り組みが必要	22件
・自然や環境の保全	18件
・少子高齢化への対応	16件
・若年層への対策 (地域参加、雇用等)	11件 など

[問い合わせ先]

県民政策部知事室広聴課 (TEL078-362-3021)